

第17回 JANSセミナー
看護学研究の社会実装
インプリメンテーション研究とデータサイエンスの潮流

イントロダクション

仲上豪二郎

東京大学大学院医学系研究科老年看護学／創傷看護学分野

東京大学大学院医学系研究科附属グローバルナースングリサーチセンター

日本看護科学学会若手研究者活動推進委員会

ENHANCING
OUR RESEARCH MINDS
FOR THE FUTURE

こんなに効果のある先駆的なケアが論文として公表されているのに、なぜ臨床に広まらないのだろう

あの患者さんにあのケアを提供できれば、きっとよくなるのに

エビデンスプラクティス
ギャップ

- エビデンス（根拠）とプラクティス（実践）のギャップを埋めるためには
1. 看護学研究の成果を社会に適応するための**実装科学（インプリメンテーションサイエンス）**
 2. 実際の現場（リアルワールド）で何が起きているのかを知る = **データサイエンス**が今まさに求められている！

- 学際的なアプローチにより、患者、保健医療従事者、組織、地域などのステークホルダーと共同しながら、**エビデンスに基づく介入**を効果的、効率的に**日常**の保健医療福祉活動に**組み込み**、**定着**させる方法を開発、検証し、知識体系を構築する学問領域（D&I科学研究会）

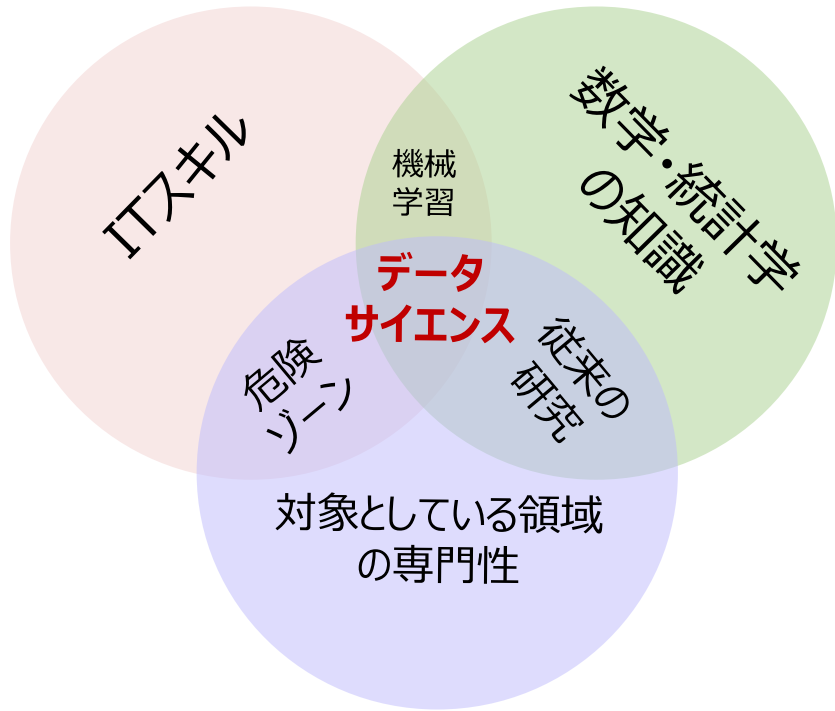
よくデザインされた介入研究により効果が検証されている介入方法
・ 内的妥当性は高いが、一般化可能性が低い



**インプリメンテーション
研究**

研究成果の一般化・社会化

- データサイエンスとは「社会に溢れているデータから《価値》を引き出す学問 (滋賀大学データサイエンス学部)」



米国のデータサイエンティストDrew Conway氏による

<http://drewconway.com/zia/2013/3/26/the-data-science-venn-diagram>を参考に作図

- データサイエンス (大川剛直神戸大学教授による解説, 2019)

- 数学・統計学の知識、ITスキルを備えるとともに、対象としている領域の専門性に長じるための学問
- 数理的・統計的な裏付けがないまま、単に対象とする専門領域においてITを活用して結果を導くことの危険性
- 数学・統計学に基づいた計算機処理やアルゴリズムに関する学問は、いわゆる機械学習
- 対象領域における深い知識や洞察（その領域における本質的な課題は何であり、その解決によって、どのような価値創出が見込めるか）に裏打ちされて初めてデータサイエンスと見なすことができる

看護学研究者は、自身の専門性を発揮しており、臨床で直面する解決すべき課題に精通している。全部自分でできるようになる必要はなく、専門性をもって、異分野研究者と融合することが重要！

= チームサイエンス

講演1



論文をとおして学ぶ看護学における
インプリメンテーション研究

須釜 淳子 金沢大学新学術創成研究機構 教授
日本看護科学学会副理事長

講演2 リアルワールドデータにおけるAIの活用



電子カルテデータを用いた褥瘡発生予測：
リアルワールドデータとAI

仲上 豪二郎 東京大学大学院医学系研究科老年看護学／創傷看護学分野
東京大学大学院医学系研究科附属グローバルナースリサーチセンター 准教授
日本看護科学学会若手研究者活動推進委員会委員長

医療IT部門実務者が伝えたい電子カルテデータ
取得・加工に役立つスキル

横田 慎一郎 東京大学医学部 講師
東京大学医学部附属病院 企画情報運営部 副部長
東京大学医学部附属病院 病歴管理部 副部長



講演3 医療ビッグデータ解析



医療ビッグデータ概論

森田 光治良 筑波大学 医学医療系
ヘルスサービスリサーチ分野 助教

レセプト情報・特定健診等情報データベース
(NDB)／NDBオープンデータを活用する

吉永 尚紀 宮崎大学医学部看護学科 准教授



- 自身の研究方法論を見直し、明日から取り入れることのできるトピックを選定
 - インプリメンテーション研究を知ることによって、今の研究が今後どのように実装されるかイメージする
 - 人工知能の手法を取り入れて回帰・分類問題に取り組む
 - 足りないエビデンスを補完するために、医療ビッグデータを使う

詳細なハウツーを学ぶセミナーは世の中にたくさんあります！本セミナーを聞いて、インプリメンテーション研究とデータサイエンスがどのように看護学研究に寄与するのかを知り、自身の研究スタイルのアップデートに役立てていただくと幸いです